MES-CG11-820-10

＊ ２０１７年 ９ 月（第２版）（新記載要領に基づく改訂）
２０１４年 １ 月１５日（第１版）

製造販売承認番号：21400BZZ00411000

医０４　整形用品
高度管理医療機器　　体内固定用ネジ　（16101003）

ソリッドスクリュー
（ノンセルフタップ）

再使用禁止

＊ 【禁忌・禁止】
1．適用対象
以下の患者に使用しないこと。
・精神疾患のある患者。［医師の指示に従えず、術後管理が不十分になる可能性］
・骨粗しょう症、骨吸収や関節症、軟部組織の欠損・脆弱、他インプラントの設置が困難な患者。［骨折・骨癒合不全を生じる可能性］
・金属や異物に対して重篤なアレルギーがある患者。
・アルコール依存若しくは薬物の濫用がある患者［医師の指示に従えず、術後管理が不十分になる可能性］
2．併用医療機器
使用の禁止［【使用上の注意】<相互作用>併用禁忌の項参照］
3．使用方法
再使用の禁止［折損の原因・感染の危険］

＊【形状・構造及び原理等】
1．形状

商品コード	商品名
11-820-10	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 10mm
11-820-12	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 12mm
11-820-14	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 14mm
11-820-16	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 16mm
11-820-18	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 18mm
11-820-20	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 20mm
11-820-22	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 22mm
11-820-24	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 24mm
11-820-26	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 26mm
11-820-28	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 28mm
11-820-30	ｿﾘｯﾄﾞｽｸﾘｭｰ皮質用全ﾈｼﾞ ﾉﾝｾﾙﾌﾀｯﾌﾟ　φ3.5mm X 30mm

色調：青

2．材質
チタン合金（Ti-6Al-4V ELI）
3．原理
骨折部分を整復後、下孔を開け、単独又はプレートと併用して使用する。

＊【使用目的又は効果】
大腿部骨折、下腿骨骨折、指、手、上肢、前腕、鎖骨の単純骨折の固定を目的とする。

＊【使用方法等】
1．使用前
・術者は術前計画で、適切なインプラントのサイズを選択してください。また、手技書にて操作手順を確認してください。
・本品は滅菌済みであり、開封後直ちに使用できます。
2．使用方法：例）骨折固定術（プレート使用）
1）開創
骨折部位の開創を行う。
2）骨ネジ孔加工
牽引整復固定を行った後、プレートの骨ネジ孔にドリルガイドを用いて、下孔ドリル加工を行う。
① 先端セルフタップ無し骨ネジ使用の場合は続いて専用器具でタッピング加工を行う。
② 先端セルフタップ有り骨ネジ使用の場合は下孔ドリル加工のみでの使用も可能ではあるが、患者の骨質の状態においてタッピング加工を行うことを推奨する。
3）インプラントの決定
骨ネジ長さゲージを用いてスクリューの長さを決定する。
4）スクリュー固定
スクリューを骨ネジドライバーに装着しスクリュー固定を順次行う。
5）縫合
開創を縫合する。
3．使用後
・患者の症状に合わせて骨治癒後に抜去してください。
・抜去方法は、「術部の開創→スクリュー抜去→プレート抜去→縫合」の順で行ってください。
・長期間インプラントを埋入していると骨形成により抜去できなくなる場合があります。患者の骨形成の能力に合わせて抜去時期を決めてください。
4．使用方法に関する使用上の注意
・使用する際は当社推奨の手術器具を使用してください。また、インプラントはキズが付かないように取り扱ってください。
・患者に埋め込んだ製品のトレーサビリティーが確認できるように、カルテに「使用した製品名、製品番号、ロット番号」が転記されているラベルを貼付してください。
・スクリュー設置の際は、必ず専用のドリルガイドを使用してドリリングを行ってください。
使用されない場合、スクリューの折損、変形、ずれが生じる恐れがあります。

＊【使用上の注意】
1．使用注意（次の患者には慎重に使用すること）
・感染症の患者［感染巣の転移や敗血症併発の恐れがある］
・骨形成、骨量・骨質が充分でない患者［充分な固定が得られず、再骨折やインプラント材料の折損等により不具合発現の可能性がある場合］
・糖尿病などの生活習慣病、慢性リュウマチの患者［骨成形が阻害され骨癒合が遅れることにより不具合発現の可能性があること］
・変性疾患の患者［インプラント材料との形状不適合等により不具合発現の可能性がある］
・てんかんの患者［医師の指導に従えず、術後管理が充分に行えないことにより不具合発現の可能性がある場合］
・肥満体［患者の体重が原因で骨との固定に失敗したり、インプラント材料の変形や折損したりすることにより不具合発現の可能性がある場合］
・高齢者［5．高齢者への適用の項参照］
2．重要な基本的注意
インプラントを変形させたり曲げたりすると、疲労強度が低下して負荷がかかった時に壊れる可能性があります。

３．相互作用

［併用禁忌・禁止］（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状措置方法	機序危険因子
他社製インプラント	摩耗、緩み、摩耗粉等が発生する。	開発コンセプトが一致しないため、適正な組合せが得られない。
他社製インプラント 材質の異なるインプラント	腐食による不具合の危険性が高まる恐れがあります。	異種の金属が相互に触れ合うと、電気化学的腐食が起きる。

４．不具合・有害事象

［本品の使用により、考えられる不具合・有害事象（これに限らない）を以下に記します。この様な異常が見られた時は適切な処置を行ってください］

1）重大な有害事象

・インプラントの破損及び破損に伴う再骨折
・インプラントの弛緩、脱転
・骨短縮
・骨壊死
・金属・異物アレルギー反応
・術後侵襲に起因する血栓を含む血管障害及び周囲の神経損傷
・肺動脈塞栓等の塞栓症及び心停止
・二次感染

2）その他の有害事象

・偽関節、遷延癒合、変形癒合
・骨密度低下
・不快感､違和感またはインプラントの存在による精神的不安定状態の発生
・疼痛
・抜去困難
・血行再生阻害
・金属製インプラントに起因するＸ線やＣＴ、ＭＲＩへの影響

５．高齢者への適用

高齢者に使用する場合は、骨粗鬆症などにより、術中の操作で生じた負荷やモーメントによる骨折や、術後の固定力の低下によるルーズニングが生じることがあるので、慎重に使用し治療の経過にも十分注意してください。

＊【保管方法及び有効期間等】

１．保管方法

本品は高温・高湿を避け、温度や湿度が極端に変化しない場所に保管してください。

２．有効期限・使用の期限

有効期間は外箱に記載してあります。（自己認証による）

＊【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
ミズホ株式会社
ＴＥＬ　０３－３８１５－３０９６
製造業者
ミズホ株式会社　五泉工場